

お知らせ

令和8年度 保育所入園 見学会

保育所すいれん

9/7 (日)
9:00～12:00

見学会で入園の申込を
された方は優先度が
上がります

★お知り合いの方にも
ぜひご案内ください

保育所かりん

9/6 (土)
9:00～12:00

守山市の認定保育所です。
申込前に気軽に
見学できます

お子さまと一緒にご参加ください。
遊んでいただきながら説明&見学をしていただけます。
お申し込み【保育所すいれん】077-584-4609 (平井)
【保育所かりん】 077-599-0539 (村上)

季節を感じる手作りスイーツを♪

すいれん
ふれあいカフェ

次回開催日

8月1日(金)・9月4日(木)
午後3時～4時

グループホームの利用者様と地域の皆様との交流の場として、月に1回「すいれんカフェ」を開催しています。地域の方との会話が弾み、毎回賑やかなひとときとなっています。保育所の子どもたちが飲み物のオーダーを取る姿も可愛らしく、場が和みます。すいれんの活動を知っていただく良い機会にもなっていますので、興味のある方はぜひお声がけください！

ゆうらいふ職員のコラムコーナー プロフェッショナル リレーコラム

Vol.28

介護福祉士
おおえ まり
大江 真理



すいれんで働かせていただくようになって、早いもので6年になります。この6年間でたくさんの利用者様とお出会いし、日々多くのことを学ばせていただいています。利用者様と冗談を言い合い、笑い合っている日々が、私にとって元気の源です。まだまだ失敗をして泣きそうになることもあります。利用者様の笑顔や温かい言葉に支えられ、毎日頑張ることができています。そして最近、推し活を始めました！娘ちゃんと一緒に、8月にはライブに初参戦を予定しています♪誰の推し活中か...知りたい方は是非、すいれんまで聞きに來てくださいね★



バトンを渡した人：浅田真由美さん（看護師） 2025年4月号登場

新入職員のご紹介

●2025年4月以降に入職された方です



★リハビリサポートゆうらいふ
大山 祥穂さん（介護職員）

リハビリサポートゆうらいふ★
中島 彩さん（介護職員）



★リハビリサポートすいれん
吉田 由季さん（作業療法士）

リハビリサポートゆうらいふ&すいれん★
土井 ますみさん（サポート職）



★小規模多機能型 花梨
高橋 理さん（介護職員）

グループホームすいれん★
平郡 友紀さん（介護職員）



特定非営利活動法人ゆうらいふ

代表

守山市立田町 1231-4

TEL：077-585-4070

お気軽に
お電話
ください

【Web】<http://www.youlife.ne.jp>

【メール】info@youlife.ne.jp

ゆうらいふ ●デイサービス ●総合事業 ●いきいき未来戦略部（事務局）
〒524-0214 守山市立田町 1231-4 ☎077-585-4070

すいれん ●グループホーム ●デイサービス ●保育所
〒524-0001 守山市川田町 1541-4 ☎077-584-2772

花 梨 ●小規模多機能型居宅介護事業所 ●グループホーム ●事業所内保育所（認可）
〒524-0214 守山市立田町 4135-1 ☎077-599-0531

憩 い ●居宅支援事業所 ●小規模多機能型居宅介護事業所
●ナースステーション ●ヘルパーステーション ●定期巡回・随時訪問型訪問介護看護
〒524-0014 守山市石田町 735-3 ☎077-584-2300

ゆうらいふ通信

2025年7月発行



すいれん

利用者様が見守る中
子ども達が
真剣な面持ちで
おまわりさんの
交通安全のお話を
聞きました！

花 梨

「どれにしようかな」
こどもの日に
手づくりの
お祝いを
いただきました！



トピックス



●2025年度通常総会・特別講演会
職員研究発表会を開催しました

●ゆうらいふトピックス

●おしらせ／新入職員のご紹介

●リレーコラム「プロフェッショナル」など

2025 年度 通常総会・特別講演会 職員研究発表会を開催しました

6月15日に、琵琶湖マリオットホテルにて開催いたしました通常総会において、全議案が無事に承認されました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。法人理念である「住み慣れた我が家で最期の時まで!!」の実現に向け、今後も持続的な発展とサービスの質の向上を目指して参ります。



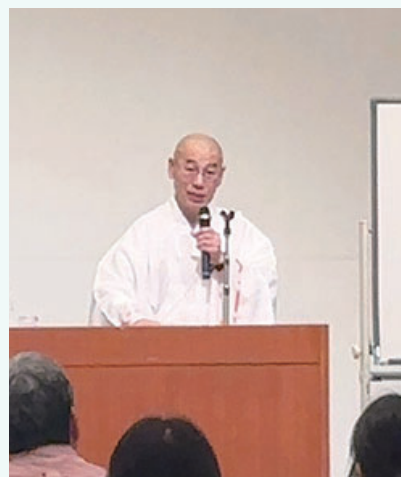
2024 年度報告

利用者数と純売上高が過去最高を記録しました。人員体制強化や相談・訪問サービスのニーズ対応、上位加算の算定が主な要因です。在宅看取り支援を多数実施し（居宅16件、ナースステーション25件、花梨3件）、医療介護連携を強化しました。また、見守りシステム「眠りスキャン」や見守りカメラの導入によるDX推進、離職率11.1%という全国平均を下回る定着率改善、外国人材の採用などの分野で成果を上げました。人件費の増加や外国人材確保費用はありましたが、安定した財政基盤を維持することができました。

2025 年度計画

利用者様が主体的に参加いただけるよう、活動の充実や、地域を巻き込んだ「学ぶ地域カレッジ（仮）」などの取り組みを展開します。重度化に対応できる人員体制の強化や、小規模多機能の宿泊サービスの充実、リハビリサポートすいれんの浴室・脱衣所改造による入浴対応枠の拡大など、多様なニーズに応じたサービス拡充を図ります。また、AI活用やICT化推進で業務効率化と質の向上を図り、職員のスキルアップや働きがい向上にも注力し、質の高いケアを提供して参ります。

特別講演会「行を終えて」上原行照師 十日回峰行 大阿闍梨、伊崎寺住職



比叡山延暦寺の十日回峰行という過酷な修行を満行された上原行照大阿闍梨をお迎えし、講演会を開催しました。支給される70足のわらじを丁寧に履き、すり減らぬよう一步一步に意識を集中することは、精神集中だけでなく足元の安全確保にも繋がる知恵なのだそうです。さらに、9日間にわたる「堂入り」では、断食・断水・不眠不休のなかで10万遍の不動真言を唱え、湿度に敏感になるほど精神が研ぎ澄まされた様子が語られました。「行は一人でするものではない。多くの人の支えがあってこそ」＝「桁業」との言葉が印象的で、人のつながりや感謝の心の大切さを改めて感じました。また、「人は変わらない。気づきこそが力になる」という言葉に、日々の生き方を見つめ直すきっかけをいただきました。心に残る、深い学びの時間となりました。

職員研究発表会 ～事例からの学び～

今年、第22回を迎えた職員研究発表会は、内部発表全10題の中から、選ばれた4題を発表しました。ゆうらいふ賞に選ばれたのは、リハビリサポートゆうらいふ／直正真子さんが発表した「利用者の自主性とは…」でした。昼食後の空白時間に着目し、利用者の興味に基づいた自主的な活動の仕組みを整備。環境の工夫や声かけにより、自己選択・他者交流を促し生活の質向上を図った取り組みについて発表しました。



インドネシアからの新しい風

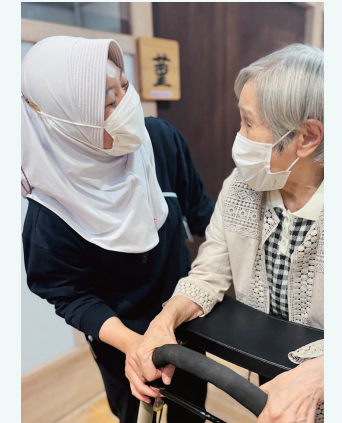
今年1月から花梨にインドリさんが、5月からは花梨にエヴァ・ヌラエニさん、ゆうらいふにエヴァ・アルヴァイダさんが入職されました。3人とも若く明るい性格で、毎日一生懸命「守山弁」の会話を理解しようと奮闘しています。利用者様も日本の文化や日常のことを温かく教えてくださり、おかげさまで少しずつ職場や地域に馴染んできているようです。日本語と介護技術の研修にも積極的に参加し頑張っています。



▲エヴァ・ヌラエニさん



インドリさんは日本在住4年目で日本語がとても上手です



◀エヴァ・アルヴァイダさん 休日に初めて京都へ出かけたそうです

▼保育園の子どもたちとジャガイモ掘りを体験 ▼スイーツ大好き！近くの河西いちご園へ



中州小学校 6年生との交流

6月26日、中州小学校の6年生が、社会見学の授業でリハビリサポートゆうらいふを訪問してくれました。あいさつを交わしたあと、生徒たちは考えてきたレクリエーションを通して、利用者様との交流を深めてくれました。利用者様も、元気いっぱい子どもたちの姿に目を細めながら、笑顔と一緒に活動してくださいました。「次は先生に内緒でボランティアにきたい」と話す生徒もいたそうで、介護の仕事に対して新たな発見や興味を持ってくれたようです。



育てて、味わって、楽しんで

どの拠点でも、花壇やプランターで育てている花や野菜がにぎわいを見せています。花梨では5月に、利用者様に植えていただいた野菜の苗がぐんぐん成長し、今ではトマトやピーマンなどの収穫を楽しめるようになりました。育て方のコツを教えてください利用者様の姿に、スタッフも学ぶことがたくさん。毎日のお世話が楽しみになっています。収穫した野菜を使った料理も大好評で、皆さまの笑顔が広がっています。

